

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品 RZ-159粉末ハンダ部分
 会社:新富士バーナー株式会社
 住所 愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1-3
 担当 木邨 吉伸
 電話 0533-75-5000
 FAX 0533-75-5033

2. 危険有害性の要約

分類の名称: _____

危険性 : 認められない

有害性 : ロウ付けの際発生するヒュームは健康上好ましくない
 ロウ付け時の発熱は、目の炎症、視力の低下の原因
 となる

環境影響 : 認められない

3. 組成及び成分情報

単一品・混合物の区別	単一製品
化学名	ハンダ
含有量	錫96.5% 銀3% 銅0.5%
化学式	96.5%Sn-Ag-Cu
化審法番号	_____
安衛法番号	_____
CAS-No	_____
国連分類	_____
国連番号	_____

4. 応急処置

目に入った場合 : 粉、粉塵が目に入った場合、清浄な流水で
 洗浄した後、直ちに専門医の診断を受ける

皮膚に付着した場合: 特になし

吸入した場合 : 粉、粉塵を多量に吸入した時は、患者を直
 ちに空気の新鮮な所に移し、安静保温に
 努め、速やかに医師の診断を受ける

飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

消火方法 : 不燃性物質

消火剤 : 特に制約なし

6. 漏出時の措置 : 特になし

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い: 擦り傷、打痕傷が生じないように丁寧に扱う
材料の端面で手を切る危険性があるので、素手で
触れないこと

保 管 : 雨水に濡らさないよう注意する
酸、アルカリ、強力な酸化剤、塩化物等化学物質及びその
雰囲気と接触しないよう保管する

8. 暴露防止装置

管理濃度 : 特になし

許容濃度 : ———

設備対策 : 特に不要

保護具

吸引用保護具: ヒュームが発生する場合は、保護マスクを着用すること

保護眼鏡 : 飛散が発生する場合、安全眼鏡を着用すること

保護手袋 : 手先を損傷する可能性がある場合は保護手袋を着用
すること

保護衣 : ———

9. 物理及び化学的性質

外 観 : 粉末固体

沸 点 : ——— 蒸気圧 : ——— 揮発性 : ———

融 点 : 216°C

比 重 : 7.4

溶解度 : 水に不溶 その他 ———

10. 安定性及び反応性

引火点 : ——— 発火点 : ——— 爆発限界上下限 : ———

可燃性 : なし

発火性 : 自然発火性、水との反応性なし

酸化性 : なし

自己反応性 : なし

安定性、反応性 : 安定物質

その他 : ———

11. 有害性情報

皮膚腐食性 : 特になし

刺激性(皮膚、目) : 特になし

感作性 : 特になし

急性毒性(50%致死量等を含む) : 特になし

亜急性毒性 : 特になし

慢性毒性 : 特になし

がん原性 : 経気吸入 特になし

経口摂取 特になし
変異原性(微生物、染色体異常)：特になし
生殖毒性：特になし
催奇形成：特になし
その他：――

12. 環境影響情報

分離性：特になし
蓄毒性：特になし
魚毒性：特になし
その他：特になし

13. 廃棄上の注意

14. 輸送上の注意 特になし

15. 適用法例

労働安全衛生法 施行令第18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物
137銀及びその水溶性化合物
322すず及びその化合物

16. その他の情報

このSDSは各種の文献にもとづき作成しておりますが、必ずしも全ての情報を網羅して
おりません。取扱いには充分注意して御使用下さいますようお願いいたします。

以上

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 RZ-159粉末ハンダ部分
会社名 新富士バーナー株式会社
住所 愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1-3
担当者 木邨 吉伸
電話 0533-75-5000
FAX 0533-75-5033

2. 危険有害性の要約

分類の名称:分類基準に該当しない
危険性 : 消防法危険物 第4類第3石油類(水溶性)
有害性 : 吸入により眼、皮膚、粘膜気管などを刺激する
摂取により不眠、嘔吐、下痢、発熱、痙攣、などをきたす事がある
環境影響 : 知見なし

3. 組成及び成分情報

化学名	グリセリン	臭化水素酸
含有量	90%	10%
CAS-No	56-81-5	10035-10-6

臭化水素単体のMSDS
は別紙の通り

4. 応急処置

目に入った場合 : 直ちに清水で15分以上水洗し専門医の診断を受ける
皮膚に付着した場合 : 石鹼で十分洗浄し、必要に応じ専門医の診断を受ける
吸入した場合 : 鼻をかんで、うがいをする
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、吐かせる

5. 火災時の措置

消火方法 : 初期の火災には水の噴霧、炭酸ガス、ドライケミカルなどの
消火器を用いる。大規模火災の際には泡消火剤などで空気を
遮断することが有効である。燃烧すると炭素酸化物が発生する。
元来フラックスは火気と共存するものですから、作業現場には
消火剤及び保護具を備えてください。

6. 漏出時の措置

付近の着火源を取り除き、風下の人を待避させる。
露出液を密閉容器に集め、残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて
安全な場所に移す。
決して露出液を下水や側溝等に流してはならない。
[少量漏れた場合]布で拭き取るか、土砂をかけて染み込ませるか、
捕集剤を使用して回収する。
[多量に漏れた場合]土砂で流れを止め、安全な場所に導いて回収する。
回収作業の際には必ず保護具を着用し、風上から作業する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い: 換気の良い場所で行う。可能であれば保護具(手袋、マスク)を着用する
作業終了後は速やかに洗面、うがい等を行いフラックスを洗い流す
保管: 冷暗所に密封保管し高温物を近づけない

8. 暴露防止装置

管理濃度: -
許容濃度: 10mg/m³(グリセリンミストとして)
設備対策: 排気設備のある所で、換気をしながら取り扱う
保護具: 保護眼鏡: ゴーグル型眼鏡等。
保護手袋: ゴム手袋等。
保護衣: 着用
その他: 防塵マスク

9. 物理及び化学的性質

形態: 無色または淡褐色の液体
沸点: 290°C
比重: 1.25
溶解度: 水20°C ∞

10. 安定性及び反応性

引火点: 345°C 発火点: 429°C 引火性液体
発火性: 自然発火性、水との反応性なし
酸化性: なし
自己反応性及び爆発性: 特になし
安定性、反応性: 通常の状態では安定である。

11. 有害性情報

皮膚腐食性: 皮膚組織を腐食する
刺激性(皮膚、目): 眼、皮膚、粘膜を刺激する。
急性毒性: 知見なし

12. 環境影響情報

分解性: 易生分解性あり
蓄積性: 殆どなし

13. 廃棄上の注意

注意事項による。 低濃度排水は活性汚泥等で処理してください。

14. 輸送上の注意

陸上輸送: 消防法危険物に該当
海上及び航空輸送: 非危険物
その他: 引火性液体「火気厳禁」

15. 適用法例

消防法危険物: 第4類第3石油類(指定数量4千リットル)
毒劇物法: 該当せず
安全衛生法: 知見なし

16. その他の情報

調査文献: 食品添加物公定書解説
注意: 危険、有害性の評価は必ずしも十分でないので、取り扱いには

十分注意願います。この情報は新しい知見または試験などにより改定される事があります。

使用禁止物(鉛、カドミウム、六価クロム、水銀、PBB、PBDE)は含有しておりません。